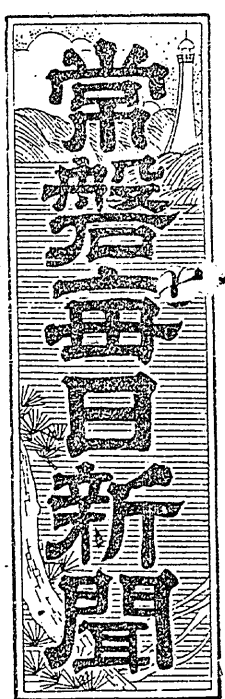


刊夕 日六月二



定価 一部全紙...
 発行所 常磐毎日新聞社
 印刷所 常磐毎日新聞印刷局

常磐炭田の開発と一

片寄平藏 山口彌一郎

一、概説
 1. 傳説による
 石炭
 常磐地方に於ける石炭の發見が何時頃であるか信據すべき記録は見當らない

磐城地方のまとまつた記録は寛文中(西紀一六七〇年頃)以後便宜上紀元年數は西紀を用ひる。内藤侯の處士葛山爲篤の撰と言はれる磐城風土記であるが全文を檢するも石炭に關する記事と思はれるものすら發見出來ない。
 常磐炭田の西部を限る阿武隈山地の一端湯之嶽の十一面觀音堂は「在平城西二十里磐前郡」大同年中(著者

寒稽古

而の内鼻息曰し寒稽古指南所へ暗をおかして弟子二人
 寒稽古破れ袴も祭えありて
 寒稽古甘酒うまし朝の雪
 寒稽古小武者共朝の雪
 寒稽古竹刀にこもる力かな
 寒稽古天狗風や講道館
 寒稽古紅白試合に日の出哉
 月四に凍て路いそぐ寒稽古
 寒聲聲の流れ夜半や色の街

良亭 秀峰 十絲 千鳥 紅果 曉美 湖晴 紅果 良亭 鐘樓

白水名「者移」假仙臺小泉名分「字」白水「城」小亦假借是國人所傳言也。白水阿彌陀建立は永暦元年(一一六〇年)と傳ふるをみれば當地方に既に文化が移入され天然の石炭の露頭或は川底の石炭塊に氣付いたてにないかと推測される。

【朝】味噌汁一豆腐
 【晝】卵の花いり一ねぎ
 【晚】鰻の蒲焼
 たゞ口碑に據れば相當古くから存在が知られてゐたやうである。その一つに次の様な話がある。
 「昔白水の奥で炭焼をしておたら黒い石が非常に臭い煙を立て、燃えた」
 當時この黒い煙を立て、燃える石を、くんのんこう(或はくんのうこう、燻能香等と言ふ。確實な語は明瞭でない。)と稱し燃せば神罪であると傳へられ殊に家の内では用ひなかつた。

其後或る人は野獸が田畑を踏み荒らすのを防ぐ野籐火を焚くに使用したとも言はれてゐる。
 之等の口碑は當地方のみのものではなく、各炭田に傳へられるものと共通してをり信據すべきものとならない。然し恐らくは數百年以前から黒い燃える石の存在は地方人には知られてゐたであらう。

美味で！
 評判の...
 イワキ
 サロン
 電 352

御融通には！
 是非御利用を...
 萬事便利な御相談に應じます。
 三井質店
 平四・電六〇六番

咽喉專門
 入院應需
 平町田町七〇番地
 山内醫院
 醫學士 山内亨吉
 電話六九一

旭硝子株式會社製品
 赤菱印
 板ガラス
 硝子壺
 硝子食器
 其他各種
 松崎硝子製作所
 平町新川町(電話一四二番)
 仙臺市榮町(電五九七番)

貨切の...
 御川命は!!!
 (獅子吼) 四四九ノ勢デ
 (マツサキ)
 眞先ニ... (マツサキ)
 ミクニ
 三九二タクシーへ!!!

舊正
 初賣の景品御準備
 本年は漆器の他、小雜貨類も取揃へ御便宜を計り極力奉仕勉強致します故是非本年も御愛顧御引立を御願ひ致します。
 必す格好な品がありますから御照會下さいませ。
 各國産漆器
 記念表彰品
 恩賜賞與品
 進物贈答品
 景品賞品類
 外交員 至急募集
 共榮漆器店
 平町三丁目北裏通り

石炭
 コークス
 玉炭
 平驛前
 阿部石炭商店
 電話三七七番

中村齒科醫院
 平町銀冶町七

古川改修

土木課長實査

土肥本縣土木課長は昨五日午後一時より小林平土木監督所長、青沼町長、酒井助役等の案内で豫て中町より猛運動中であつた古川改修に關し實地視察を遂げたが縣の設計は先に五十萬圓程度と二十萬圓程度の二案に分れて居たが内務省と縣廳が數回打合せの結果實施工事費數萬圓に依り卅尺巾の河底に改修すべき設計に改められた結果課長が一應實査せんとて來平されたものであると

政府米あふれ

向ふ十ヶ年間

山崎家の倉庫借用 農倉の對策

石城販賣利用組合平農倉庫は今回政府の指定倉庫に決定されたので今後郡の政府買上米は同倉庫に收容する事になつたが現在同倉庫には買上米以外の米を多數收容してあり差當り政府米の收容に差支へるので同組合では昨四日午後一時より團體事務所を理事會を開き對策を協議した結果此際商家の倉庫を借用して當てる事となり直に各理事は平町の代表的商家の倉庫を視察せる結果古鍛冶町山崎與三郎氏の倉庫は四千餘俵を收容し得し然も理想的な裝置なので懇請し向ふ十ヶ年間借受ける事となり政府米専門に收容する事に決定したと

惜まる、選手達

平商の各部送別會

平商業學校庭球、野球、柔剣道、弓道、辯論、競技の各部では來る十一日紀元節擧式後夫々選手を送別會を開催するが各部に於ける本年度卒業選手は左の如く昨年の縣大會及び關東大會に見事優勝して晴れの明治神宮大會に出場半商をして廣く天下に名をなさしめた庭球部の安島君を始め縣下大會に於いて名捕手として折紙をつけた野球部の渡邊君等合計十九名である

養蠶經營座談會

縣から技師二名來郡

縣養蠶課でに郡下養蠶家の經營改善を計る爲め赤澤、永井兩技師が來郡九日植田十日澤渡、十一日半の三ヶ所で各養蠶實行組合員を招き座談會を催すと

平町物價

一等一キロ	一六〇
二等同	一五五
三等同	一五〇
白米	一五〇
白麥	一五〇
白麥	一五〇

研町通り

代表商店

大奮發の福引
明日から華々しく
研町通りの代表商店である
山田屋雜貨店、木田はき物店、菅木製綿店、高岡屋菓子店、宗像金物店、京屋洋服店、吉村製綿店、金成雜貨店、北川呉服店、白十クランスカ店、白藤酒店、鈴木タンス店は明七日より五日間舊歲福引景品付大出

春は近しい

和やかな風に 公園の梅香る

池の氷も解け初めて
「もの皆生色を帯ぶ」

松ヶ岡公園の南崖尼子亭脇は北風を遮り暖かい陽光を浴びて香り床しき白梅が未だ消えやらぬ雪の名残りをよそに春一魁けて早や五分通り咲き誇つて懐かしい芳薫を四邊一面に漂はしてゐる、その樹の下に小さい兒守娘

しを行ふが買上一圓母に一本宛で一等より六等迄上等三ツ重桐タンス家庭ブトン等々景品山積し福運者を待つて居ると

新學年の御用意
ランドセル (三十種)
手提カバン (三十種)
マルトモ柴田書店
電話 二五三七

婚禮料理
道具までも
田町錦水では目下婚禮料理を開始勉強し、あるが値段は松一圓二錢、竹一圓五十錢、梅二圓で道具も十八人分迄一式揃へてお慮なく御使用されたいと

看護婦急派
の求めに應じます
平町南町
平看護婦會
電話三〇七番

印刷物の御用命
總は命用御
印刷日毎警常
番〇三六話電

謝恩と奉仕
燃ゆる大塚へ……
靴!! 五圓以上一割引
御用は 大塚製靴部
電話七十七番

舊正月を機會に

映畫戰正に激烈

平町の兩館が秘策を練る

フアンの待望

平町映畫界は舊臘世界館が松竹系、鮮やかな轉向を見せて以來

俄然平館との對立は 熾烈を加へ新春初興行第一戰には兩館「マルガ」晴曇の巨作を擁し近來にない華々しい興行戦を演じ連日

好成績 を續けて兩館とも吾が世の春を謳歌した形であつたが、この數日に迫つた舊正月興行には再び新春の歴史的成績をもひにせんとして兩館その

策戦 を秘してプログラム編成に没頭してゐるが

昨今世界館は舊正月興行に聚樂館を借り受け新興全プロで上映することを發表世界館は松竹全プロとし二館を擁して一舉にフアンを吸収せんとしゝゐるがその番組を見ると世界館は松竹京都の大作全發聲「天一坊と伊賀亮」

聚樂館 が入江プロ

「新しき天」阪妻プロ「桂小五郎」で昨夏帝都に於いてこの番組をもつて新興直營館が邦畫界一霸を稱へた新興白漫のストラッガープログラム、かくして腹背に強敵を控へて多年平町映畫界に君

臨した平館はまた王者の地位を確保しやうと強力

番組 を編成すべく口

活本社と協議中であらうかそれには活が誇る傳家寶刀全發聲「丹下左膳」若しくは同「色夜叉」の何れかであるが「丹下左膳」と決定すればそれこそ「双妖左膳」が思ふ存分暴れ廻つて平町映畫界を攪亂することであらう因に秘卷の豫定プロは左

自動車轉覆慘死

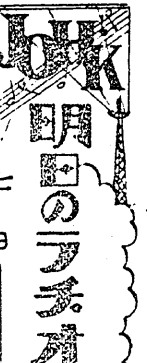
二百五十圓で示談成立

既報湯本町大字湯本字寶海四八杉本廣吉が去る七年十一月三十日同町水野谷久吹莊司方運轉手松田吉男の運轉するトラックに乗り茨城縣土浦町迄引越荷物を運搬しての歸途多賀郡日高村地内に於いて自動車が田圃の中に顛覆し、頭部を強打し致命した爲め被害者廣吉の妻ヤエ及び長女ケイは路頭に迷ひ永野辯護士を代理人として自動車營業者主従を相手取り平支部に損害賠償並に慰謝料二千五百四十圓の請求訴訟を提起した事件の口頭辯論は昨日午後二時より中島判事係り關口、香西

平青年團

月次修養會

税の講演をきく
平青年團修養部では本日午後七時よりマルトモホールに於て月次修養會を開催するが講師は平稅務署長唯野喜八氏で所得稅及び營業收益稅に關する講演があると



今晩も明日も北風の風雲

今晩の部
後六、〇〇 子供の時間
お話と唱歌 第二師團高級副官歩兵中佐 宮城善助、ピアノ伴奏 佐藤千賀子
後六、二五 英語講座(二)の(二)兼廣正雄
後七、三〇 講演 「大平

洋時代に於ける日本の地位「鶴見祐輔」
後八、〇〇 三曲、白の聲
工藤ふみ子外
後八、二五 獨唱、ピアノ伴奏 澤智子、木村ゆき子
後八、五〇 清元明島花濡衣 清元梅王太夫外
後九、三〇 時報 ニュー

盗んだりな

二百五十三回!

求刑通り懲役六ヶ月

平鎌田町三七高木銀之助(三)が昭和四年より磐城炭礦半發電所に雜夫として雇はれ、昨年十一月頃迄引續き同所より前後二百五十三回、亘り鑛物類合計八百九十貫餘價格百五十一圓六十

鳴る腕無し

平穩な特別警戒

昨夜全市内に亘つて

平署では舊正月も迫つて來たので昨四日午後十時より署内二十餘名の特別警察隊員集を招き横山署長指揮のもと

石油罐九本窃取

無錢飲食常習犯の餘罪

千葉縣片見町生當時住所不詳の無錢飲食常習犯が、昨五日同町下町料理店金來亭

ス 氣象通報 番組豫告
明日
前七、〇〇 基礎英語講座(十四) 岡倉山三郎
前九、〇〇 料理献立「もやしとほう」中曾根梅子
前〇、二五 家庭講座
「九條竹子夫人の歩んだ道」西本願寺布教師 仁本正恵
後二、〇〇 家庭大學講座「植物」常識(三)帝國女子醫學堂專門學校教授 久内清孝
後、五〇 ラグビー試合

實況「濠洲對早稻田ラグビー戦」神宮球場中継(後六、〇〇)(子供の時間)お話「海上生活二十年」佐藤漸二
後六、二五 基礎佛語講座(七)目黒三郎
後七、三〇 講演「産業前線工作」倉敷労働科學研究所文學博士 桐原藤見
後八、〇〇 漫談風景
後八、三〇 尺八「紅葉狩友調」鳥貫辰柳外數種
後九、〇〇 長唄 杵屋佐吉外

社告

編輯部 梅崎安彦
右人社候也
常磐毎日新聞社

取調た結果他は無錢飲食數件の外茨城縣多賀郡坂上村生れ漁夫木津義雄(五)と共に謀し本月 日小名濱築港事務所倉庫より石油罐九本を窃取せる旨白したので日下餘罪取調中

叔貯藏の協議

勿來町農會では來る十二日午後一時より役場會議室に協議會を開き叔貯藏計劃に就いての打合せを行ふと

去勢猶豫馬匹

全部下の去勢猶豫馬匹検査は來る十七日平町團體事務所側廣場に於いて行はれる

平職業紹介所報告

回人を求める方
△女工 三十迄 尋卒 給料面談
△給仕 十五才 日給三十 尋卒
△兒守 十三才 尋卒 月

木村科醫院

平町五丁目橋際 電話九〇三番

長唄

御稽古をおすゝめ致します

舞踊

花柳流舞踊 研究所 花柳徳三郎 杵屋十茂代



【禁無斷轉載上演映畫】

寶井馬琴 演
山本英春 畫

第一百五十一回 徳川家に崇る村正

新藏覺悟の家出

金「毒虫の細末を蔭干にし
て食物の中へ入れ、見さん
や姉さんに喰べさせようと
いふ思召は、鬼とも蛇とも
申様がございませぬ」

と思はず金次郎が口走り
ましたからビツクリ驚いた
おその

そ「金次郎、まあ静かにお
し、お前の様に大きな聲を
すると若し立ち聞きでも」

と言はれた時に新藏はツ
ツとした、ア、情ない母の
了簡、して見ると私と妻の
おきくを毒殺しようとの考
へであるか知らん、うかつ
な事は出来ないと思ひまし
て、自分の身体を見せたら
悪いと、足音のしない様に
ソツと店へ行つてしまつた
扱て其後は新藏病氣といつ
て店へ出ないで奥に寝て居
ります、女房のおきくも
何だか様子が怪しうござい
ますから

き「醫者を呼んで」
といふを
新「別に醫者を呼ぶ迄もな
い二三日寝たら治らうか
ら」
と食事も碌に致しません
うつくと考へて物も食べ
ない様子、新兵衛も大層心

配して居ります、或は新兵
衛が

新「おそのや、今日で七八
日新藏が店へ出ないやうだ
加減が悪いといふことだが
様子を見たか」
そ「私は見や致しません
よ」



新「何故お前はそうだ、や
れもすると、新藏の話しを
すれば直ぐ顔の色を變える
信濃屋の身代を相續しよう
といふ大切な者だ、私にも
う來年になれば隠居をして
了ふ、して見たら私もお前
も、新藏の世話にならなけ

りやならないのだ、病氣な
らば側に付いてゐて……」
そ「いやでございませぬ、私
は病人の側へ参ると胸が悪
くなりませぬ、夫れに病人は
嫌ひでございませぬ」
新「何故そう不實な事を言
はつしやる」
そ「私はどうせ不實でござ
いますよ」

側にある金次郎がバラ
／＼して居ります

金「お父さん私は今迄見さ
んの處に居りましたが、風
邪でもございませう少し熱
がございませうやうで」
新「あ、そうか私も今行つ
て見てやるが、竹内先生を

呼んで早速薬を飲ませなけ
ればならない、只風邪とい
つてゐる中に重くしてしま
ふといけな」
金「そういふ事にして」
と親父は大層心配し、ゐ
る、新藏は病の味、就きま
たやうなもの、うかつに

食事もいたしません、おき
くにも吩咐けて必ず阿母さ
んの處から病氣見舞と云つ
て下さる物は、無暗に食べ
てなりませぬぞと、思ひあ
りげな様子、その内に新藏
も考へたものと見えて、或
夜書置をして仔細あつて家
出を致すが女房のおきくや
娘のおまさを頼むと言ふ事
を書いて、信州小諸を夜に
まぎれて出立いたしました

跡に残りましたる妻のおき
く、娘のおまさはは幼少
でございませぬが、驚いたの
はおきくで、どうしたもの
であらうと思ひ、殆ど人事
を辯じない位、信濃屋新兵
衛は流石大家の主人新藏の
家出したのも豫め察して居
ります、金次郎も共々に先
づ心當りの家を探して見た
が、どうも此の世の中に居
なからう、入水でもしたか
それとも山奥へ行つて立木
で首でも締つたかと心配を
致しまして、出入の者一同
を八方へ手分けをして尋ね
て見たが少しも解りませぬ

新「金次郎やチヨイと茲へ
來ておくれ、おきくやお前
もおまさを連れて此處へお
出で、そう心配ばかりして
居ても仕方がない、扱て新
藏もこれ迄探して見ても知
れないのは、モウ必ず遠國
へ走つたか、それとも此の
世に居ないか私も斯うなつ
ては仕方がない、就いては
此の先の方針を定めなけれ
ばなりません」
金「その事に就きましては
私が新藏様の御機嫌の取る
様が悪いのでございまして

斯うやつて子供までありま
すのを、家出を遊ばして短
氣な事でも遊ばして見ると
手を以つて殺せないでも新
藏様を殺したのはこのおき
くでございませぬから、どう
ぞ今からお暇を願ひ度う存
じます、尼になりませぬか、
但しは自害でも致す覺悟で
ございませぬ、而し且肌様に
は孫に當りますおまさを、此
の子はどうぞ此方で御養育
を願ひませぬ」

新「それはいかな、お前
は此の二三日書置でもして
居る様な鹽梅、心得違ひで
もありやしないかと私も認
めるし、金次郎もどうか姉
さんにそんな事のない様に
と、いふ處から今日お前を
此處へよんだのだ」

一冊の代金で
御希望通りな
五冊の雑誌が
自由に讀める
川崎巡 同文庫
電六三〇番
(申込次第規則書進呈)

新「何故お前はそうだ、や
れもすると、新藏の話しを
すれば直ぐ顔の色を變える
信濃屋の身代を相續しよう
といふ大切な者だ、私にも
う來年になれば隠居をして
了ふ、して見たら私もお前
も、新藏の世話にならなけ

新「何故お前はそうだ、や
れもすると、新藏の話しを
すれば直ぐ顔の色を變える
信濃屋の身代を相續しよう
といふ大切な者だ、私にも
う來年になれば隠居をして
了ふ、して見たら私もお前
も、新藏の世話にならなけ

◎本會は!!
篤實老練なる看護婦を急派の御命
に應じます

平看護婦會

會長 清野キヨ
電話三〇七番

◇尚ほ御希望に依り

- 輕るい御病人の附添ひや
- 妊婦産婦の御家庭に
- 婆や又は見習婦を
- 經濟的に

◇御世話致しますとどうぞ御用命
下さい。

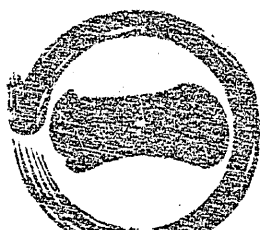
貸切の御用命の際は是

非電話六四〇番尼子タクシーへ
御願します。

◇新車も購入致しました。

平二丁目
尼子タクシー部
電六四〇

ほしやなぎ
いかの鹽から
鱈魚の子



魚問屋

店理代平命生本日本最優最
榮 盛 賀 志
(三一電)目丁四平